



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、沖縄プログラム第2陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より高校生23名および引率者2名が、2016年12月20日～27日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。省庁講義、歴史的建造物視察、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした、帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 25名（レイシス高校）

【訪問地】

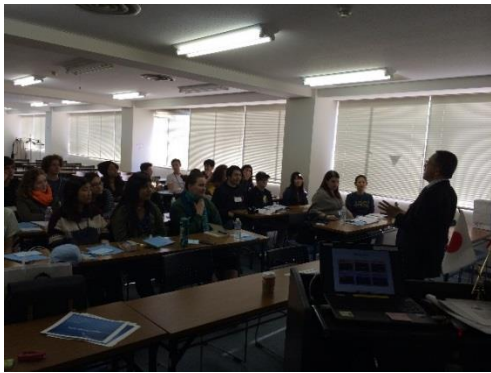
東京都、沖縄県

2. 日程

- 12月20日（火） 羽田国際空港より入国
- 12月21日（水） 【オリエンテーション】
【講義】外務省北米局「日本の外交政策」
【歴史的建造物】皇居
沖縄県へ移動
- 12月22日（木） 【学校交流】沖縄県立小禄高等学校
【視察】沖縄県立博物館
【文化体験】エイサー体験
- 12月23日（金） 【歴史関連施設】沖縄県平和祈念資料館、平和祈念公園
【歴史的建造物】首里城
【ホストファミリー対面式】
- 12月24日（土） 【ホームステイ】
- 12月25日（日） 【ホームステイ】歓送会
【ワークショップ】
- 12月26日（月） 東京へ移動
【報告会】
- 12月27日（火） 【歴史的建造物】明治神宮
成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

東京都



12/21【オリエンテーション】(東京都)



12/26【報告会】(東京都)

地方プログラム (沖縄県)



12/22【文化体験】エイサー体験 (那覇市)



12/22【視察】沖縄県立博物館 (那覇市)



12/22【学校交流】沖縄県立小禄高等学校 (那覇市)



12/23【歴史的建造物】首里城 (那覇市)



12/25【ホームステイ】歓送会 (那覇市)



12/25【ワークショップ】(那覇市)

4. 参加者の感想

◆ アメリカ 高校生

沖縄戦争体験者の講話がすばらしかったです。講話はとても衝撃的で、沖縄をこれまでと違った視点で見ることができるようになりました。沖縄を訪問する人は、沖縄の悲しい歴史を学ぶためには是非この博物館を訪れてほしいと思います。ホームステイでは初め少しぎこちなさを感じましたが、すぐに慣れて打ち解けることができ、それからどんどん楽しくなっていました。ホストファミリーと食事をしたとき、私達ははるか遠く離れたところに住んでいるのに、お互いの文化が似通っていることに気付きました。沖縄は本当に素敵なところですよ。

◆ アメリカ 高校生

ホームステイは、私が経験した中でもっとも楽しいプログラムでした。自国の以外の文化に深く浸ることは、私にとって初めての経験でした。初めは慣れない環境に不安を感じており、楽しく過ごすことができるかどうか心配でしたが、ホストファミリーは暖かく迎え入れてくださり、ホームステイ体験は、想像していたよりもずっと楽しく印象に残るものでした。学校交流もとても楽しく、小禄高校との交流を通して、教育に対する考え方が変わりました。学校は、学業だけでなく芸術にも力を注ぐことができることがわかりました。

◆ アメリカ 高校生

学校交流がとても印象的でした。高校のマーチングバンドの演奏には衝撃を受けました。楽器が曲に忠実に正確に演奏されており、演奏者全員が曲の細かなところまで神経を行き届かせていました。沖縄の伝統文化であるエイサー(踊り)と三線の演奏も印象に残っています。今回の滞在を通して日本とアメリカ文化の違いを楽しみました。平和祈念博物館の訪問も有意義で、日本人は象徴と追悼に重きを置くことを知りました。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流先教員

本交流は、本校生徒及び職員にとって大変良い機会になりました。普段は接することの少ないアメリカの高校生との交流を通して、異文化に関心を持つ生徒や外国へ行って視野を広げたいと感じた生徒も多くいたことと思います。

◆ 学校交流先高校生

私は、自分の語学力がどのくらい通用するのか試すいい機会にしたいと思い、このプログラムに参加しました。以前オーストラリアに行った際には、本当に自分の言いたいことを単語でさえ伝えきれず、後悔の大きいホームステイになりましたが、今回のプログラムは、とても充実させることができました。英語で話す楽しさを改めて感じることができ、将来は、英語関係の仕事に就きたいと強く思いました。これから大学に行っても、このようなプログラムに参加し、もっと自分の視野を広げようと思います。

(※相互交流プログラムにつき、2016年11月に米国訪問済み)

6. 参加者の対外発信

 LACES Kakehashi 2016 (@laces.kakehashi.2016) Group shot entering the Shuri Castle #kakehashi2016 #jjice	 LACES Kakehashi 2016 (@laces.kakehashi.2016) We have some talent in our group! Eisa dancing at Okinawa University #kakehashi2016 #jjice
視察先についての発信 首里城	文化体験についての発信 新たなる才能を発見！沖縄大学にてエイサ体験

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	アクション・プランの発表 1 日本語また日本の文化に対する関心や教育を広めていくため、参加者は以下のことを行う。 ① ジャパンナイトの開催 ② SNS を通した情報の発信
--	---